

2014年日本心血管脳卒中学会 会員総会議事録

1, 日時 2014年6月6日(金) 13:20-13:40

2, 場所 大宮ソニックシティ 小ホール  
埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

3, 出席者

4, 議題 (一部敬称略)

議長(峰松一夫運営委員長)は、委任状(25通)を含め、全会員918名の5%を越える参会者を得て、会員総会が成立したことを宣言した。議事録署名人に、峰松一夫(議長)と小笠原邦昭(運営委員)を指名した。

(1) 開会あいさつ(峰松一夫)

昨年6月に日本頸部脳血管治療学会から日本心血管脳卒中学会に移行したが、資金移動、名簿整備、学術評議員委嘱などの実務がようやく一段落した。本日から第1回学術集会が開催されているが、本学会の目標である、心臓血管と脳血管の専門家が一同に会して脳卒中の治療を議論する場として発展させた。

(2) 2013年度決算について

伊苅裕二(前期会長)は、第12回日本頸部脳血管治療学会の決算を報告し、全会一致で承認を得た。

坂井信幸(庶務会計幹事)は、日本頸部脳血管治療学会の最終報告と引き継いだ資産(繰越金)を組み込んだ2013年度決算、根本 繁監事、山田和雄監事の承認を得たことを報告し、全会一致で承認を得た。

(3) 2014年度決算について

2013年度決算に基づいて作成した2014年度予算案を坂井信幸(庶務会計幹事)が説明し、全会一致で承認を得た。

(4) 次々々期会長について

峰松一夫(運営委員長)から次々々期会長(第4回学術集会を主宰)に飯原弘二(九州大学脳神経外科教授)先生が運営委員会で推薦されたことが報告され、全会一致で承認を得た。

(4) 利益相反規定について

利益相反委員会(岡田靖委員長)がまとめ、運営委員会で採択された規則を坂井信幸(庶務会計幹事)が報告した。骨子は以下の通り。1)日本医学会の指針改定に基づいて開示対象期間を3年とする、2)本学会はCOIマネージメントを行わず正会員は所属する基本領域学会に申告する。準会員は本学会の基準に基づき学術集会発表時に開示する、3)開示基準は日本脳神経外科学会の基準に準ずる、などを説明した。

(5) 第1回学術集会について

兵頭明夫会長(獨協医科大学越谷病院脳神経外科)から、テーマ「多角的視点から診る脳卒中」に沿ったプログラムを組んだこと、第37回日本バイオレオロジー学会年會を一部併催していることが報告された。

(6) 第2回学術集会について

永廣信治次期会長(徳島大学脳神経外科)から、会期:2015年6月12日(金)-13日(土)、会場:ホテルクレメント高松、テーマは「心脳善用、自他共栄」とすることが説明された。

(7) 第3回学術集会について

池田隆徳次々々期会長(東邦大学循環器内科)から、会期:2016年6月17日(金)-18日(土)、会場:東京コンファレンスセンター品川、第1回、第2回の内容を参考に準備することが説明された。

以上この議事録が正確であることを証します。

2014年6月6日

議長: 峰松 一夫



議事録署名人: 小笠原 邦昭

Handwritten signature of Kunihiro Ogihara and a red circular seal.